

ドル円、105 円台前半まで下落

GLOBAL MARKETS RESEARCH

チーフアナリスト 内田 稔

アナリスト 平松 誠基

三菱 UFJ 銀行

A member of MUFG, a global financial group

令和 3(2021)年 2 月 8 日

前営業日の市況

ドル円相場は 105.58 で寄り付いた後、東京市場は 1 月の米雇用統計を控え様子見姿勢が強まり、同水準で揉み合った。欧州時間に入ると、主要通貨に対するドル売りが優勢となり、ドル円は 105 円台前半まで下落した。しかし、米上院が予算決議案を可決し、1.9 兆ドル規模の経済対策実現期待から、市場のリスク選好姿勢が強まった。為替市場では、ドル買い円売りが優勢となり、ドル円は高値 105.76 まで反発した。しかし、米雇用統計が不冴えな結果となると、再びドル売りが優勢となり、ドル円は安値 105.32 まで下落し、安値圏 105.37 で引けている。(平松)

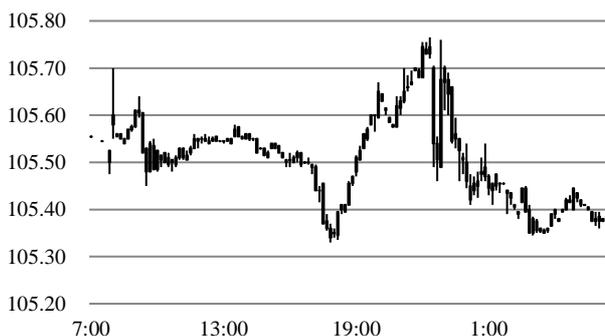
本日のポイント

ドル円の陽線は 7 営業日連続で途絶え、5 年ぶりのタイ記録達成（16 年 9 月～10 月の 8 営業日）ならず。終値も 200 日移動平均線（105.58）を下回って越週したほか、上影陰線は一般的に騰勢の衰えを示唆し、戻り売りをよしとするもの。最近のドル円上昇の手掛かりは、米国経済の好転と巨額の財政出動への期待。しかし、雇用統計はその期待に水を注し、財政出動も規模を疑問視する身内からの造反抑止を狙い、規模縮小となる可能性が高まる。ドルを買い進める新たな材料抜きに 105 円台の維持は難しさを増していこう。(内田)

本日のディーラー予想

ドル円	ユーロドル	ユーロ円
104.80～105.80	1.1980～1.2080	126.20～127.40

前営業日のドル円相場推移



直近1年のドル円相場推移



(出所) グラフは Bloomberg EBS、文中の為替データは弊行 4 本値

市況データ

	OPEN	HIGH	LOW	CLOSE
USD/JPY	105.58	105.76	105.32	105.37
EUR/USD	1.1965	1.2050	1.1952	1.2050
EUR/JPY	126.27	127.00	126.18	126.97
GBP/USD	1.3676	1.3740	1.3666	1.3736

	終値	(前日比)
日経平均	28,779.19	+ 437.24
ユーロストック 50	3,655.77	+ 13.65
FTSE100	6,489.33	- 14.39
ダウ工業	31,148.24	+ 92.38
ナスダック	13,856.30	+ 78.56
上海総合指数	3,496.33	- 5.53
CRB 商品指数	181.39	+ 1.15
WTI 原油先物	56.85	+ 0.62
金先物	1,813.00	+ 21.80
VIX 指数	20.87	- 0.90

	2年	(前日比)	10年	(前日比)
日本国債	-0.118 %	-0.003 %	0.060 %	-0.001 %
独国債	-0.711 %	0.000 %	-0.448 %	0.006 %
米国債	0.104 %	-0.009 %	1.165 %	0.024 %
英国債	-0.025 %	0.001 %	0.482 %	0.042 %

	終値	(前日比)
無担保コール O/N	-0.010 %	+ 0.001 %
ユーロ円金利先物	100.055 p	+ 0.000 p
円-LIBOR6 ヶ月	-0.05650 %	+ 0.01583 %
円-TIBOR6 ヶ月	0.13636 %	+ 0.00000 %
米国 FF Rate	0.08 %	+ 0.00 %
米国 TB3 ヶ月	0.0203 %	- 0.0025 %
USD-LIBOR6 ヶ月	0.20700 %	- 0.01550 %
EURIBOR6 ヶ月	-0.51900 %	+ 0.00600 %
GBP-LIBOR6 ヶ月	0.06888 %	+ 0.01925 %

※「米国 FF Rate」のみ as of 2月4日

※OPEN は日本時間午前9時、CLOSE は日本時間翌日午前7時。(出所)為替のデータは弊行4本値、その他のデータは Bloomberg

前営業日の主な経済指標等

時刻	地域	経済指標	予想	結果
8:30	日	家計調査消費支出(前年比、12月)	▲1.8%	▲0.6%
14:00	日	景気一致指数(12月速報)	87.8	87.8
14:00	日	景気先行指数(12月速報)	95.2	94.9
22:30	米	非農業部門雇用者数変化(1月・万人)	10.5	4.9
22:30	米	失業率(1月)	6.7%	6.3%
22:30	米	貿易収支(12月・億ドル)	▲657	▲666
5:00	米	消費者信用残高(12月・億ドル)	120.00	97.34

時刻	地域	イベント
21:15	英	ペイリーBOE 総裁講演
22:30	ユ	デギンドス ECB 副総裁講演
22:30	英	ペイリーBOE 総裁講演

※時刻は東京時間、市場予想は Bloomberg 調査中央値

本日の主な経済指標等

時刻	地域	経済指標	予想	前回
8:50	日	経常収支(12月・億円)	10,830	18,784
14:00	日	景気ウォッチャー調査-現状(1月)	30.0	35.5
14:00	日	景気ウォッチャー調査-先行(1月)	35.0	37.1
16:00	独	鉱工業生産(前月比、12月)	0.3%	0.9%

時刻	地域	イベント
	ユ	欧州議会本会議(～11日)

照会先：三菱UFJ銀行 グローバルマーケットリサーチ シニアアナリスト 井野 鉄兵

当資料は一般的な情報提供のみを目的として作成されたものであり、特定のお客様のニーズ、財務状況又は投資対象に対応することを意図しておりません。また、当資料は、適用法令上許容される範囲内でのみ利用可能であり、当資料の頒布を制約する法令が存在する地域の方によって利用されることを意図しておりません。当資料内のいかなる情報又は意見も、預金、有価証券、デリバティブ取引その他の金融商品の売買、投資、保有などを勧誘又は推奨するものではありません。

当資料は信頼できるとされる情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性、適時性、適切性又は完全性を表明又は保証するものではなく、当行、その子会社又は関連会社は、お客様による当資料の利用等に関して生じうるいかなる損害についても責任を負いません。ご利用に関しては、すべてお客様御自身でご判断下さいませう、宜しくお願い申し上げます。

また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。

当行は、当資料において言及されている会社と関係を有し、又はかかる会社に対して金融サービスを提供している可能性があります。当行のグループ会社は、当資料において言及されている証券又はこれに関連する証券について権利を有し、又はこれらの証券の引受けを行っている可能性があります。また、これらの証券又はそのポジションを保有している可能性があります。

当資料の内容は予告なしに変更することがあり、また、当行、その子会社又は関連会社は、当資料を更新する義務を負っておりません。また、当資料は著作物であり、著作権法により保護されています。当行の書面による許可なく複製又は第三者、個人顧客もしくは一般投資家への配布することはできません。

(株式会社三菱UFJ銀行ロンドン支店にのみ適用される情報開示)

株式会社三菱UFJ銀行(以下「MUFG Bank」)は、日本で設立され、東京法務局(会社法人番号0100-01-008846)において登記された有限責任の株式会社です。

MUFG Bankの本店は、東京都千代田区丸の内二丁目7番1号(郵便番号100-8388)に所在しています。

MUFG Bank ロンドン支店は、英国会社登録所において、英国支店として登録されています(登録番号BR002013)。

MUFG Bankは、日本の金融庁によって認可及び規制されています。MUFG Bank ロンドン支店は、英国ブルーデンス規制機構より認可を受けており(FCA/PRA 番号139189)、英国金融行為監督機構の規制とブルーデンス規制機構の限定された規制の対象となっています。英国ブルーデンス規制機構によるMUFG Bank ロンドン支店の規制の範囲の詳細は、ご請求いただいた方にお渡ししております。